

お口のくち

健康情報室

先日、タレントの堀ちえみさんが自身のブログで、ステージ4の口腔がん^{こうくわがん}と診断されたことを公表し、大きな反響がありました。今回は口腔がんがテーマです。

日本人の口腔がんは、咽頭がんと合わせてもがん全体の25.3%といわれています。まれながんということもあり、認知度は低いものの、近年は40歳未満で発症する患者

検診で口腔がん発見も

さんも目に付きます。

口腔がんは半数ほどが舌にできます。進行すると舌を切除したり、あごや顔に大きな傷痕が残ってしまったりするため、術後の患者さんのQOL（生活の質）に大きな影響を与えます。話すことや食べることが難しくなるケースもあります。

一方で、体の表面にできるため、自分の目で確認でき、知識があれば病変に気づくこともできます。歯科医師による検診や診療で見つかる確率も高いです。

早期に発見して治療できれば、術後に大きな障害を残すことなく社会復帰できます。県歯科医師会では、県民のみなさんへの啓発とともに、口腔がんを早期に発見する仕組み作りを県と進めています。

（千葉県歯科医師会）



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん（千葉県・当地版）